

古賀市子ども・子育て支援事業計画進捗状況管理に係る聴取希望事業について

頁	番号	事業名	担当課	聴取内容	委員
40	(1)-1	乳幼児健診事業	予防健診課	<ul style="list-style-type: none"> ・4ヶ月・10ヶ月健診については医療機関対応となっているが、発達が気になる子ども及び両親への支援はどのように行われているか。早期対応が重要だと思われるが、その状況を確認したい。 ・他市町村では発達支援事業だけではなく、母子保健事業としての対応も大切という話も聞けるが、1才6ヶ月・3才健診で発達が気になる子ども及び両親への対応は充分に行われているか。 	梯
				<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診事業、子ども発達指導訓練事業、及び児童虐待対策事業をつなぐ体制についての今後の方向性を確認したい。 	角森
41	(1)-5	子ども発達指導訓練事業	子育て支援課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・どの市町村も手一杯の状況だと聞けるが、古賀市ではどうか。 ・就学後に支援が途切れる感じがするという保護者の話がある。ひまわり教室等の相談事業もあるが、保護者に届いていないのではないかと。サンコスモ内でひまわり教室の相談ができると保護者も行きやすいと思うが、そういった対応の予定はないのか。近隣の市町村は18歳まで通しての支援事業となっているが、古賀市は今後そのような対応を考えているか。 ・発達等の支援を受けるための相談窓口が分散しているため、保護者があちこちに出向かねばならない。また福祉施策の改正等もあり、以前に聞いたことと違っていることもある。このような実情から不安を抱える保護者の話を聞く。相談窓口の一本化の検討はできないか。 	梯
				<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診事業、子ども発達指導訓練事業、及び児童虐待対策事業をつなぐ体制についての今後の方向性を確認したい。 	角森
	(1)-6	児童虐待対策事業	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診事業、子ども発達指導訓練事業、及び児童虐待対策事業をつなぐ体制についての今後の方向性を確認したい。 ・学校との連携、及び職務の範囲について確認したい 	角森 森
41	(1)-7	就学前健診事業	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待被害・貧困児童・いじめ・不登校の状況はいかがか 	高橋
	(1)-8	こころの相談事業	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待被害・貧困児童・いじめ・不登校の状況はいかがか。またその対策と結果はいかがか。 	高橋
	(1)-9	子どもの体力づくり推進事業	生涯学習推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・参加状況等や、子どもの体力がどのように向上しているか確認したい。 	梯
	(1)-10	青少年相談事業	青少年育成課	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の計画にも挙がっていた事業であるが、5年間でどう目標が達成できたか。また今回更にどのような改善をしているのか確認したい。 ・相談事業の周知率は13.5%、利用は0.1%とあまり成果が上がっていないように思われるがいかがか。 	加藤

頁	番号	事業名	担当課	聴取内容	委員
42	(2)-3	地域交流促進事業 じんけん平和教室	隣保館	・公募でどのくらいの子どもが集まっているか。 ・人権や平和についての学びは生かされているか。	高橋
	(2)-4	スタンドアローン (一人で立つ)支援事業	隣保館	・現在市内1ヶ所で行っているが、今後増える予定はあるか。 ・居場所づくり事業とも重なると思うが、互いの連携はあるか。	梯
				・目標・方向性の項「自尊心の高揚や将来展望を持てるよう支援内容の充実を検討する」を踏まえた、具体的な事業内容について確認したい。 ・参加している中学生は、どのような中学生か。 ・支援内容及び結果について確認したい。	桑野 高橋
	(2)-5	ゲストティーチャー事業	学校教育課 学校	・豊かな人間性を育むための支援として、地域との交流授業の中で、特に良かった事例について聞きたい。	末次
43	(2)-9	子ども体験広場事業	青少年育成課	・長く続いている事業であるが、現在の進捗状況、今後継続させていくもの、また子ども環境の変化に応じてよりよく変化させていくものなどがあると思う。今後の事業について考え方を確認したい。 ・拠点としての広場とともに、地域で育つ子どもへの支援としての視点はありますか。	梯
	(2)-10	居場所づくり事業	青少年育成課	・子どもたちが安心して居られる場、特に中高生たちの居場所作りは重要だと感じる。現在の利用状況及び子どもたちが集まりやすい工夫はあるか。 ・子ども食堂等の子どもの貧困対策についても居場所づくりとつながりがあると思われるがいかがか。 ・現在の2ヶ所以外の居場所はあるか。	梯
				・前回の計画にも挙がっていた事業であるが、5年間でどう目標が達成できたか。また今回更にどのような改善をしているのか確認したい。	加藤
44	(3)-2	不登校児童 生徒等支援事業	学校教育課	・虐待被害・貧困児童・いじめ・不登校の状況はいかがか。またその対策と結果はいかがか。	高橋
	(3)-3	特別支援教育事業	学校教育課	・子どもへの支援と共に親への支援も大切だと思うが、親が相談しやすい場はあるか。「就学前までは相談できたが、就学後は相談先がわからない」「相談しにくい」「親同士気軽に相談しあえる場がない」「1人で不安」という保護者の声もきく。	梯
45	(3)-6	総合的な学習事業 ボランティア教室	学校教育課 学校	・具体的な活動内容と今後の展開について確認したい。	下川
	(3)-11	小1プロブレム対策学級 補助員配置事業	学校教育課 子育て支援課	・現在の状況を確認したい。 ・学校だけでは解決できない状況があるのではないか。小1プロブレムに至らないよう、家庭・地域・幼稚園・保育園等で連携する場はあるか。 ・家庭や地域のあり方も含め、小1の時期だけでなく、子どもの育ち全体で考える必要があると思われるがいかがか。	梯

頁	番号	事業名	担当課	聴取内容	委員
	(3)-12	中1ギャップ対策 講師配置事業	学校教育課	・中1ギャップによる事例で学力不振・不登校・いじめなどがあると思われるが、具体的に各項目どのような事例があるか。	末次
46	(3)-13	高等学校等中途退学 問題調査研究会議	学校教育課	・中途退学の実態について確認したい。 ・問題解決のための方法、あるいは方向性について	桑野
	(3)-17	アンビシャス 広場づくり事業	青少年育成課	・子どもたちの居場所として、それぞれに工夫された事業が展開されていると思うが、今後についての課題はあるか。 ・古賀東小学校での子ども広場が、いい取り組みだと感じる。アンビシャス広場づくり事業として、他校区にも広がってほしいと思うが、いかがか。 ・家庭と学校の間で何を行っているのか等進捗状況を確認したい。	梯
	(3)-18	通学合宿事業	青少年育成課	・前回の計画にも挙がっていた事業であるが、5年間でどう目標が達成できたか。また今回更にどのような改善をしているのか確認したい。 ・利用の増加もなく、支援の働きかけもないようだが成果はいかがか。	加藤
				・事業の内容を確認したい。	井上
	(3)-19	青少年育成団体 支援事業	青少年育成課	・前回の計画にも挙がっていた事業であるが、5年間でどう目標が達成できたか。また今回更にどのような改善をしているのか確認したい。 ・子どもの育ちを考える協議会は「わくわくフェスタ」の開催しか行っていないのではないか。	加藤
	(3)-20	非行防止啓発事業	青少年育成課	・前回の計画にも挙がっていた事業であるが、5年間でどう目標が達成できたか。また今回更にどのような改善をしているのか確認したい。 ・啓発活動については作文発表のみだと思われるが、本当に啓発になっているのか。	加藤
47	(3)-24	地域コミュニティにおける 子育て支援推進事業	コミュニティ推進課	・組織づくりの推進は、具体的にどのように進んでいるか。 ・組織ができた上で、どのような取り組みがあっているか。 ・子育て支援を考える場では「地域で育つ、育てる」ということを大切にしたいと言われる。地域で支える子育てについて考えを聞きたい。	梯
				・文部科学省のコミュニティスクールの指定を受けていない本市において、独自の「古賀モデル」を創造することが必要である。しかし現在8校区のコミュニティが全て存在し、円滑な活動が成されていないのではないかと感じるが、進捗はいかがか。	村松